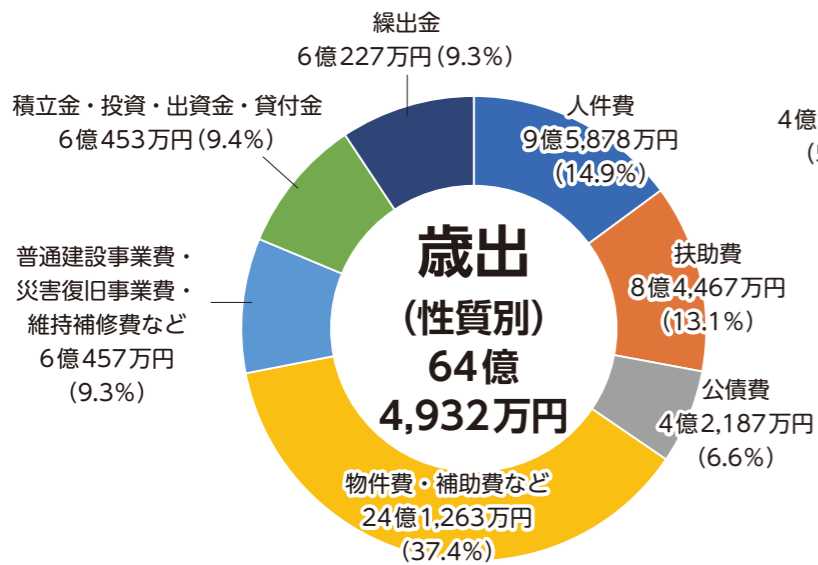
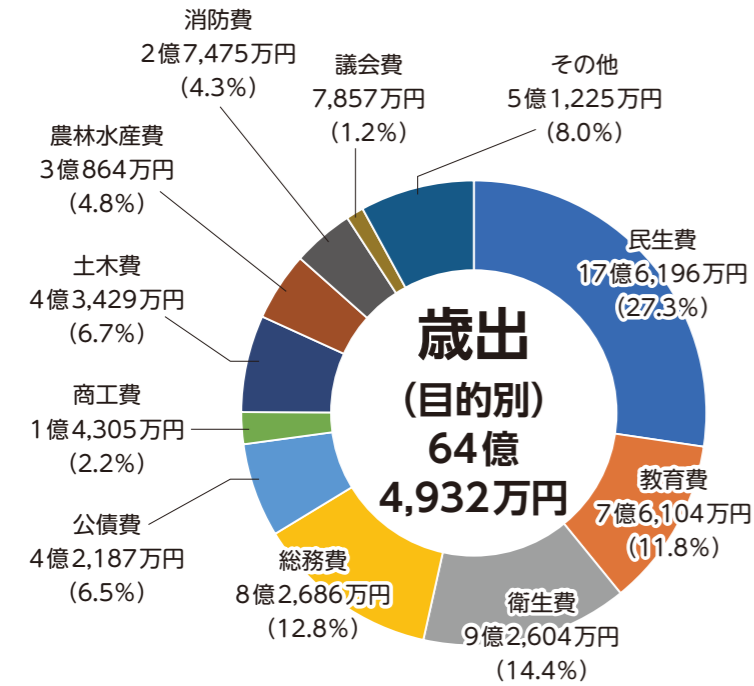
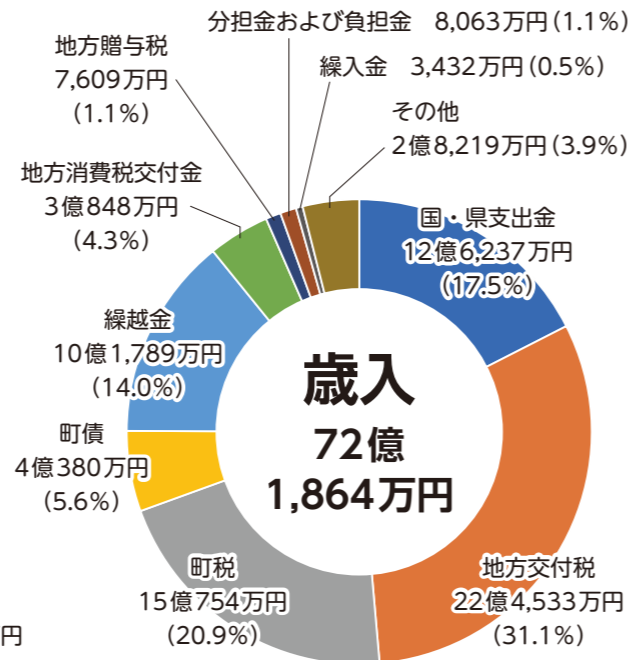


▶ 令和4年度 一般会計



歳入は72億1,864万円で前年度より9,522万円(1.3%)増え、歳出は64億4,932万円で前年度より3億4,380万円(5.6%)増えました。差引きは7億6,932万円となり、今年度も黒字決算となりました。今後も、歳出の抑制に努め健全な財政運営を行い、かつ、安心安全なまちづくりを行ってまいります。



● **目的別歳出**
行政目的に着目した歳出の分類

● **性質別歳出**
経費の経済的性質に着目した歳出の分類

未来を見据えた 財政運営



令和4年度 決算報告

令和4年度の町の決算は、東庄中学校の校舎大規模改修設計や、こども園園舎の増築工事など、未来ある子どもたちに関わる事業にも多く使われました。

町のお金がどのように使われているか、わかりやすく家計簿形式にまとめてみました。(正確な数値は3ページにあります。)

東庄町の家計簿

一般会計を1000分の1にしてあります。

収入		支出	
給与 (町税・地方贈与税・その他交付金)	197万円	食費 (人件費)	96万円
親からの仕送り (地方交付税・国県支出金)	351万円	医療費など (扶助費)	85万円
家賃収入 (分担金・負担金)	8万円	ローンの返済 (公債費)	42万円
貯金の取り崩し (繰入金)	3万円	光熱水費や通信費など (物件費・補助費など)	241万円
その他 (繰越金など)	123万円	家の建築・改修・修繕 (災害復旧費・普通建設事業費など)	61万円
ローン借入れ (町債)	40万円	貯金や投資 (積立金・投資・出資金・貸付金)	60万円
		子どもへの仕送り (繰出金)	60万円
収入合計	722万円	支出合計	645万円

家計簿に「ローン借入れ」や「ローンの返済」と書かれています。町の財政が赤字というわけではありません。下の表を見てみると、町の財政の健全化判断比率が早期健全化基準を下回っており、町の財政が赤字ではないことが分かります。健全化判断比率とは、財政の早期健全化や再生が必要かを判断する4つの財政指標のことです。

▶ 特別会計

特定の収入で特定の事業を行うとき、その収支を明確にするために設置する会計

会計名	歳入	歳出	実質収支
国民健康保険	18億9,540万円	16億6,682万円	2億2,858万円
後期高齢者医療	1億8,908万円	1億8,845万円	63万円
食肉センター	1億7,860万円	1億2,320万円	5,540万円
訪問看護ステーション	2,810万円	2,255万円	555万円
介護保険	15億9,585万円	14億5,508万円	1億4,077万円

▶ 企業会計

地方公営企業法が適用される事業として区別される会計

会計名	収入	支出	損益
水道事業会計	4億6,264万円	3億4,849万円	1億1,415万円
病院事業会計	10億245万円	10億4,423万円	△4,178万円
食肉センター特別会計	5,000万円	1億3,510万円	△8,510万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、減価償却費などの損益勘定留保資金等で補てんしました。

東庄町の健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計の赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率 町すべての会計の赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率 町債の返済がどれくらい負担になっているか	5.5%	25.0%
将来負担比率 将来どのくらいの負担が見込まれているか	-	350.0%

借入金 (地方債現在高)		927万円 減額	
令和3年度末	令和4年度末	令和3年度末	令和4年度末
47億7,384万円	47億6,457万円	預金 (財政調整基金現在高)	
		令和3年度末	令和4年度末
		9億481万円	12億483万円
資金不足比率	企業会計名	東庄町	経営健全化基準
資金不足比率	水道事業会計	赤字なし	20.0%
企業会計の赤字割合	東庄病院企業会計	赤字なし	20.0%
	食肉センター特別会計	赤字なし	20.0%